



「職員自身の家族が利用したいと

思えるような施設づくりを目指す」

YUKEMURI

2023 vol.2


グリーンコート **三愛**

〒059-0463 登別市中登別町 24 番地 113

TEL : 0143-83-0111 FAX : 0143-83-0113

HP : <http://www.sanai-hospital.or.jp>

[施設行事活動]

忘年会



毎年恒例の忘年会でお酒と海鮮鍋を楽しみました

クリスマス会



クリスマス特別メニューで乾杯

もちつき会



おしるこを食べた後は、お正月に向け、鏡餅を作りました

ラーメン活動



ラーメンの味を選んで頂き、目の前で調理しています

[全国老健大会]

鈴木尚子介護福祉士主任

▶▶ 研修参加で得たものとは？



全国老人保健施設大会に参加し、勤続20年目となる私ですが自己研鑽を図ってキャリアアップと同じだけスキルアップをしていけるよう今後も努力していきたいという意欲が湧き、介護が好きだと改めて実感して北海道へ帰って来ました。特に興味関心があった介護分野は、介護主任の立場上、人材・教育、次にICT化が進む介護ロボットについて、LIFEについて、介護全般

ケアについてです。又、グリーンコート三愛からの研究発表の発表者としても参加してきました。「外国人職員入職後に感じた職員・利用者の変化」という内容で実習生としての受け入れから入職後に至るまでの受け入れる側の職員の心境の変化や教育体制の仕組みについて主な内容となっています。もう一人の発表者は勤続2年目になる笑顔がかわいらしく声掛けも優しいゴック介護福祉士です。とても努力家で日本語が上手で、今回の大会は初めての参加でありながら「食事の香りへの働きかけがどのように影響するか」という演題で発表をしてくれています。ベトナム人発表者であることから他の施設職員の関心は多い印象がありました。

ここ数年はコロナ禍で感染予防のこともあり、以前の様に自由に面会ができない現状です。ご家族様や利用者様にご不便をおかけして心苦しく感じています。安心して当施設でお過ごし頂ける様に、これからもエビデンスに基づいた介護サービスのご提供と、利用者様一人一人のお声、お気持ちにしっかり寄り添える介護福祉士であり続けたいと思います。



[感染対策への取り組み]

多床室に間仕切り可能なパーティションの設置とシャワールームの増設を行っております。感染症流行拡大防止や感染流行時の入浴対応に役立てて参ります。



シャワールーム



多床室

[直接面会のお知らせ]

ご家族様へ長らく、オンライン面会という形で直接面会のご遠慮を頂いておりましたが、この度、面会室の準備を進めております。詳細につきましては、施設へ直接お電話いただき、ご確認下さいませ。



▶ 兵庫県で行われた全国老健大会に2名参加し演題発表を行いました

ファミトゥエンゴック介護福祉士

大会で発表し、他施設での課題や新しい視点が勉強になりました。各施設によって、視点や課題、信念等それぞれ異なりますが、統一されていた事は「利用者の為、最も良いサービス提供」という目的でした。研修を経て他職種連携で課題を探し、改善していく事を日々考えています。利用者の為、日々新しく、良いサービスを考え人材確保しながら働きやすい職場を作り、自宅で生活しても本人だけではなく家族も不安なく負担がかからない様、心身を支援できる方法を考え、目指し提供するという視点を広げる事ができ勉強になりました。全国大会で勉強できた事を活かし一日でも役に立てるように知識向上に努めていきたいと考えます。



▶▶ 仕事で心掛けている事とは？

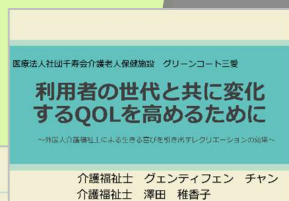
2年間知識や仕組みを学びながら、介護福祉士として努めています。介護の仕事では一番近くで利用者に日々関わり日常生活支援しています。その為、プライバシーを尊重し、利用者は患者さんではなくお客さんとして目線を合わせ、挨拶から初める事が大事だと思い心掛け、ケアしています。自宅と施設では環境、出会い、人、ライフスタイル等の色々な場面が変わる事がありますが、施設だからといって制限があるのではなく、各部署での役割で自分らしく生活を送るように、身体と心の支援をしています。

当施設では利用者に全国のグルメな食べ物や季節の果物等を楽しんで頂いたり、毎月のイベントで交流の機会を作り、温泉浴等のサービスを提供する中で信頼を作り一人一人のニーズに応じるよう、利用者の思いに耳を傾け、心身の支援をしていきたいと考えています。



【 北海道 老健大会 】

昨年10月にオンラインで開催されました、全道老健大会にてグエンティフェンチャン介護福祉士が利用者様の余暇時間を充実するための取り組み「利用者のQOL向上」をテーマに1年かけ研究に取り組み、演題発表を行いました。今後も、生きがいを持って生活を送っていただける配慮と工夫をこらした企画を提案して参ります。



最後に

介護の仕事をする上で、利用者との関係性構築を大切にしている。利用者が困った時に一番に頼られる職員になるため、コミュニケーションでは笑顔を欠かさず利用者の人生に残って頂ける様、今後も支援していきたい。

